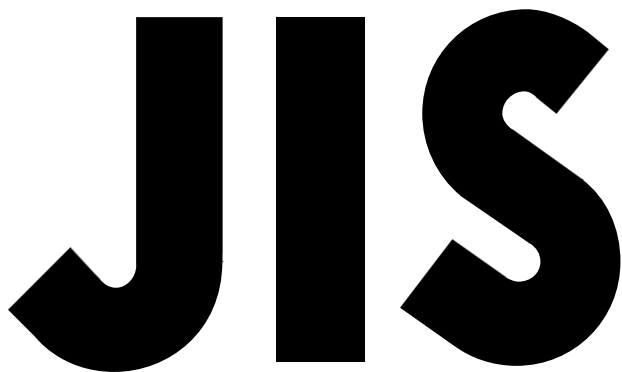




土の粒度試験方法

JIS A 1204 : 2020

(JGS)

令和 2 年 3 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宇 治 公 隆	首都大学東京
(委員)	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石 田 知 子	株式会社大林組
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	鈴 木 澄 江	一般財団法人建材試験センター
	高 橋 俊 之	一般社団法人セメント協会
	野 口 貴 文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	原 田 修 輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	久 田 真	東北大学
	前 田 敏 也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	柳 田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	吉 田 敬	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡 辺 博 志	国立研究開発法人土木研究所

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 25.11.10 改正：令和 2.3.25

官 報 掲 載 日：令和 2.3.25

原 案 作 成 者：公益社団法人地盤工学会

(〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2 TEL 03-3946-8677)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験器具及び試薬	2
4.1 試験器具	2
4.2 試薬	4
5 試験の種類	4
6 試料の準備	4
6.1 一般	4
6.2 試料の準備	5
7 粒径が 2 mm 以上の粒度試験	5
7.1 試料	5
7.2 試料の水洗い及び炉乾燥	5
7.3 粒径が 2 mm 以上のふるい分析	5
8 粒径が 2 mm 未満の粒度試験	6
8.1 沈降分析	6
8.2 粒径が 2 mm 未満のふるい分析	7
9 粒度の計算	8
9.1 粒径が 2 mm 以上の粒度試験結果に対する粒度の計算	8
9.2 粒径が 0.075 mm 未満の粒度試験結果に対する粒度の計算	8
9.3 粒径が 0.075 mm 以上 2 mm 未満の粒度試験結果に対する粒度の計算	12
9.4 粒径加積曲線	13
9.5 均等係数及び曲率係数の計算	13
10 報告	14
附属書 A (参考) 校正及び点検	15
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	16
附属書 JB (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	28
解 説	34

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人地盤工学会（JGS）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 1204:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

土の粒度試験方法

The method for particle size distribution of soils

序文

この規格は、2016年に第1版として発行された **ISO 17892-4** を基とし、日本国内においては土層構成が複雑であること、及び軟弱地盤を含めた地盤全般に対してこの規格から得られた試験結果に基づく設計体系が確立していることを考慮し、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書 JB** に記載する。

1 適用範囲

この規格は、高有機質土以外の土で、かつ、目開き 75 mm のふるいを通過した土の粒度を、求める試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 17892-4:2016, Geotechnical investigation and testing – Laboratory testing of soil – Part 4: Determination of particle size distribution (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0207 地盤工学用語

JIS A 1201 地盤材料試験のための乱した土の試料調製方法

JIS A 1202 土粒子の密度試験方法

注記 対応国際規格：**ISO 17892-3**, Geotechnical investigation and testing – Laboratory testing of soil – Part 3: Determination of particle density

JIS A 1203 土の含水比試験方法

注記 対応国際規格：**ISO 17892-1**, Geotechnical investigation and testing – Laboratory testing of soil – Part 1: Determination of water content

JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法

JIS B 7507 ノギス

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具